

# 連合奈良 2015 春季生活闘争・第 18 回統一地方選挙勝利

## 総決起集会

1. 日 時 2015年3月6日(金) 18時30分～20時00分
2. 場 所 なら100年会館 大ホール
3. 集 会 次 第

○ 開会・司会	連合奈良会長代理 松岡 隆	18:30～18:35
○ 主催者あいさつ	連合奈良会長 小山 淳二	18:35～18:45
○ 連帯あいさつ	民主党奈良県総支部連合会	18:45～19:00
	代表挨拶 前川 清成 参議院議員	
	社民党奈良県連合会	
	代表挨拶 梶川 虔二 奈良県会議員	
	推薦候補者紹介	19:00～19:20
○ 春闘方針提案	連合奈良事務局長 竹平 均	19:20～19:25
○ 決意表明	産別代表	19:25～19:40
○ 集会アピール	連合奈良女性委員会	19:40～19:45
○ 集会宣言	連合奈良中小共闘センター	19:45～19:50
○ シュプレヒコール	連合奈良青年委員会	19:50～19:55
○ 団結カンパロー	連合奈良中小共闘センター	19:55～20:00
	本部長 鎌戸 平治	

## 御来賓

### 【奈良県】

荒井正吾 奈良県知事

### 【議員】

前川清成 参議院議員 (民主党)	工藤将之 桜井市議会議員 (民主党)
大西孝典 元衆議院議員 ( " )	渡辺哲久 三宅町議会議員 ( " )
山下 力 奈良県議会議員 ( " )	阪東吉三郎 田原本町議会議員 ( " )
藤野良次 奈良県議会議員 ( " )	木内利雄 上牧町議会議員 ( " )
高柳忠夫 奈良県議会議員 ( " )	辻本 茂 吉野町議会議員 ( " )
森川喜之 奈良県議会議員 ( " )	田尻 匠 前奈良県会議員 ( " )
森山賀文 奈良県議会議員 ( " )	小笹浩樹 前生駒市議会議員 ( " )
尾崎充典 奈良県議会議員 ( " )	西村千鶴子 大和郡山市議選予定候補者 ( " )
猪奥美里 奈良県議会議員 ( " )	平川理恵 斑鳩町議選予定候補者 ( " )
山口 誠 奈良市議会議員 ( " )	
松村和夫 奈良市議会議員 ( " )	梶川虔二 奈良県議会議員 (社民党)
内藤智司 奈良市議会議員 ( " )	
階戸幸一 奈良市議会議員 ( " )	川口正志 奈良県議会議員 (無所属)
西川健次 大和郡山市議会議員 ( " )	和田恵治 奈良県議会議員 ( " )
市本貴志 天理市議会議員 ( " )	加藤嘉久次 天理市議会議員 ( " )
西村元秀 大和高田市議会議員 ( " )	西川繁和 大和高田市議会議員 ( " )
中村良路 香芝市議会議員 ( " )	岡田光司 桜井市議会議員 ( " )

※ 下線は、奈良県知事選挙、第18回統一地方選挙連合奈良推薦決定

2015 春季生活闘争は、いよいよ最大の交渉局面を迎えている。

政府は、株価の上昇などを引き合いに出し、「アベノミクス」の効果を強調しているが、円安や株高などで潤っているのは一部の企業や富裕層に限られており、その恩恵は多くの働く者、国民には波及していない。むしろ国民の生活は改善されず、雇用の不安と低所得に苦しむ働く人々が増加している。また、労働者保護ルールに「岩盤規制」とレッテルを貼り、その改悪が検討されるなど、働く者を踏み台にした国づくりが進められようとしている。さらに、負担を分かち合いながら、持続可能な全世代支援型社会保障制度の確立をめざしてきた社会保障と税の一体改革も足踏み状態である。加えて、年金積立金について労使の意向を無視した運用を行っている。このような中、2015 春季生活闘争は、「賃上げ」「時短」「政策・制度要求の実現」の取り組みを通じ、「デフレからの脱却」と「新しいサイクルでの経済の好循環実現」をはかる闘いである。デフレに終止符を打ち、日本経済を持続的な成長軌道に乗せることができるのか、あるいは、賃金水準が停滞し物価だけが上昇する悪いインフレに陥るのか、2015 春季生活闘争は日本の将来を左右する分水嶺といっても過言ではない。

すべての労働組合が月例賃金引き上げの要求を掲げ、回答の引き出しに全力を尽くすとともに、その成果を広く社会に波及させ、「底上げ・底支え」「格差是正」を成し遂げる必要がある。正規・非正規にかかわらず働く者の声を要求に集約し、地道で真摯な交渉・協議を積み重ねることで、「働くことを軸とする安心社会」の実現や、日本経済の自律的・継続的な成長をはかっていく。

われわれは最後まで粘り強い交渉を展開し、賃上げで景気の底支えを実現し、「休み方」「働き方」改革による長時間労働の撲滅を実現するとともに、社会全体に闘争の成果を行き渡らせるために、総がかりで闘い抜いていくことをここに宣言する。

2015年 3月6日

連合奈良 2015 春季生活闘争総決起集会

#### 集会アピール

3.8 国際女性デーは、1857 年にニューヨークで起きた工場火災で、多くの女性たちが亡くなったことを受け、3 月 8 日に低賃金・長時間労働に抗議する集会が開かれたことが起源です。

その後、国連においてこの日は、「女性の権利と平等のために闘う記念日」と位置づけられ、賃金・労働条件の向上を表す「パン」と、女性の尊厳、人権の確保を表す「バラ」をシンボルに、今も世界各国で様々な行動が展開されています。連合は、1996 年から、春季生活闘争の中に国際女性デーの行動を位置づけ、全国で行動を展開しています。2015 春季生活闘争において、連合は「賃上げで景気の底支えを！」「休み方」「働き方」改革で長時間労働撲滅！」をスローガンに、「底上げ・底支え」「格差是正」の実現と、「デフレからの脱却」、「経済の好循環実現」に向けて、「賃上げ」「時短」「政策・制度実現の取り組み」を3つの柱として闘っています。男女平等課題は、「男女間の賃金格差および労働条件格差の是正」、「男女雇用機会均等法、改正育児・介護休業法の定着・点検」、「パートタイム労働者の総合的な労働条件の向上」などとし、積極的に取り組んでいます。今年の 3.8 国際女性デーの全国統一行動は、「職場を点検！男女間格差をなくそう」をテーマとし、男女平等社会の実現を目指します。

安倍政権は、女性活躍を政策の柱に位置付け、2020 年までに指導的地位に就く女性を 30%にすることをめざしています。女性の活躍促進が取り上げられることは評価しますが、働く女性の6割が非正規労働者という実態を直視すべきです。性別役割分担意識にもとづくハラスメントの防止、女性の就業継続を阻む長時間労働の是正なくして、真の女性の活躍は進みません。私たちが求めるのは、一部の女性の活躍ではなく、すべての女性の底上げによる活躍推進です。

私たちは、本集会に集まった一人ひとりの行動で、「男女が対等・平等で人権が尊重され」、「すべての人にディーセントワークが保障され」、「だれもがワーク・ライフ・バランスを実感し」、「社会のあらゆる分野、とりわけ職場、労働組合における男女平等参画」を実現し、「働くことを軸とする安心社会」をめざしましょう。

2015年3月6日 連合奈良2015春季生活闘争勝利総決起集会・国際女性デー統一行動

# 2015 公共サービスキャンペーン開始宣言

私たち奈良県公務公共サービス協議会は、地域社会における医療、福祉、教育、まちづくりなどのすべての「公共サービス」が、必要な時、必要な人に確実に行き届くよう基盤を整備し、「公共サービス」の質を向上させることで、豊かな地域社会づくりを実現させるため奈良県に、公共サービス基本条例の制定を求めています。

医療福祉・教育機関、地域交通などが提供する「公共サービス」は、私たちの生活を支えるセーフティネットです。現状では、保育や介護サービスを受けるために多くの人が長期間待機している状況があります。そして、サービス提供者の働く環境の保障も十分とはいえません。

誰もが安心して暮らせる社会の実現のために、行政だけでなく市民やNPO、民間企業などが協働して、質の高い公共サービスを提供しつづけることのできる仕組みづくりが大切です。ともに「公共サービス基本条例」の制定運動に取り組みましょう！

これまで取り組んできた成果により、昨年7月、奈良県に公契約条例が可決し、今年4月に施行されます。

地方公共団体が契約を結ぶ際、入札基準や落札者決定で契約先における労働者の安定雇用、男女共同参画、障がい者雇用、環境、地域貢献など社会的価値を評価することを定めるものです。

公的施設における民間委託の広がり、指定管理者制度の導入、競争入札の拡大が進む中、委託料や入札価格が大幅に低下しています。その結果、委託・入札企業に働く労働者の賃金・労働条件の低下や雇用不安を引き起こすだけでなく、委託企業の安定的、継続的な事業実施を困難にさせ、地方公共団体が提供する行政サービスに関わって、ときに住民生活への大きな混乱や被害をもたらします。

「官製ワーキングプア」の問題がとりざたされる中、労働者の賃金を守り、雇用を安定させる公契約条例の必要性はますます増しています。

格差社会を是正し、誰もが働きがいのある社会をめざして取り組みを進めましょう！ 以上宣言します。

2015年3月6日

奈良県公務公共サービス労働組合奈良県協議会